

標十五句

松岡隆子選

忙殺の顔の振り向く空つ風	瀬音より風はなれゆく一位の実	昶りて素描の淡さ水木の实	乗つ越しへ深山茜を先立てて	生き生きと造花挿されて一葉忌	この先もこの家守らむ隙間風	湖を掴みて鴨の着水す	あるだけの石踏咲きにけり浄閑寺	さばさばと果てて明るき枯蓮	病室に夜がまた来る冬の雨	暮るる日に枯蟪蛄のまた枯るる	位牌抱く色なき風に身をさらし	枯蓮を見てきた顔で人と会ふ	もう音のしない落葉を踏みゆけり	百日の雪の中なる常の日々
染谷晴子	峰岸よし子	佐藤郭子	松原ふみ子	別府優	渡辺あつ子	川上昌子	唐木和世	広渡詩乃	志立佐知子	平沢千恵子	早川紀子	梶浦道成	中島紀子	菅原永子